

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年10月20日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	鹿児島県教育庁かごしま県民大学中央センター	代表者名	下屋敷 由貴子
担当者部署	生涯学習課	連絡先電話番号	099-221-6606
担当者役職	指導主事兼専門員	担当者氏名	上三垣 賢一
		連絡先E-mail	
住所	892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町14番50号		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浦田 真由
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	3日目のメディア研修講座アドバンス型の講演では、受講者の困りごとや課題点などの事前アンケートを踏まえた具体的な取組や効果的な実践例について、画像・動画等を交えながら丁寧に御教示くださり大変参考になった。また、浦田様が講演中にチャットツール「Slido」を活用して、随時、受講者の質問や意見にコメントして下さったため、受講者が能動的に学ぶことのできる充実した講演会となった。質疑応答においても、受講者からの全ての質問に対して明確な回答やアドバイスをしてくださったため、受講者一人一人が講演会に満足感をもって参加することができた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年10月14日	講演	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時30分	16時00分	
				活動時間（分）	150

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可 <https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	かごしま県民大学中央センター職員、市町村生涯学習・社会教育担当者	34人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・オンラインによる講座を実施する際、市町村によって施設・設備やノウハウや職員の技術の習熟等に差があること。 ・今後、オンラインによる講座の重要性が増す中、自然災害発生時や感染症感染拡大などの事態にも対応できる市町村の生涯学習・社会教育担当者の人材育成。 ・特に高齢者を支援する人材の確保や継続的な支援体制のあり方。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	主に以下の内容について、今後、各市町村で積極的に取り入れてもらう。 ・地域コミュニティにおけるICTの活用方法に関する効果的な具体的事例について ・地域の特性に適した仕組みを、継続的に利用するための工夫や手立て等について ・地域における高齢者のICT利活用を支援する人材育成のあり方について ・地域と自治体が一体となり、継続的・日常的に高齢者のICT利活用を支援する体制について	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	演題：地域コミュニティにおけるデジタル活用支援へ向けて 内容：高齢者のデジタル活用を支援、健康増進へ向けたICT利活用、健康増進のためのスマートスピーカーアプリの開発、デジタル相談会の開催、デジタル支援ボランティアの育成、e-スポーツ体験会の開催、高齢者デジタル機器の利用を支援する担い手の育成、質疑応答	
支援を受け改善又は解決された内容	浦田様の講演により、デジタル・デバイドの解消に向けて取り組んでいる自治体の生涯学習・社会教育担当者が、具体的な取組や効果的な実践例を学ぶことによる悩みや課題を解決するためのヒントやアドバイ	

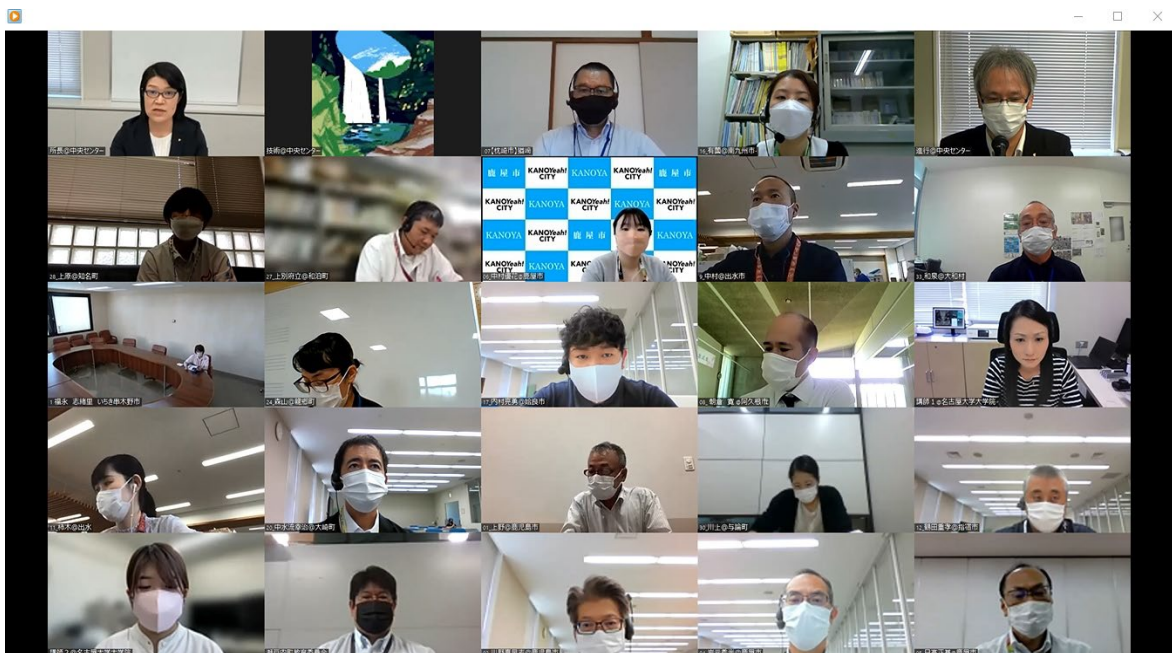
(具体的にご記入下さい)	教育担当者、具体的な取組や効果的な実践例をひとしほりご質問や課題を解決するためのヒントやアドバイスを数多く得ることができた。特にICT利活用を支援する人材育成のあり方やICT機器を活用した継続的・日常的な支援のあり方などの具体的な運営方法については、各自治体のデジタル・デバイド解消に向けた取組の参考となった。また、浦田様には受講者の質問に一つ一つ丁寧に分かりやすく答えていただいたため、各々の自治体における困りごとや課題等に対する課題解決に生かすことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	浦田様の講演により、各自治体の生涯学習・社会教育担当者が現在抱えている悩みや困りごと、課題等デジタルについてのアドバイスを受け、デジタル・デバイド解消に向けた事業等の軌道修正を図ったり、DX推進に係る方向性を明らかにしたりすることができた。	
アンケートの内容と分析結果	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	講演後、受講者に実施したアンケートの内容等については、取りまとめた後、改めて送付します。	
社会におけるデジタル化が進展する中において、誰一人取り残さず、県民が、デジタル化の恩恵を享受できるように、デジタル・デバイド(情報格差)の解消に向けた生涯学習、社会教育における取組の推進。		

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
 なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



デジタル支援ボランティアの育成

名古屋市北区

地域の高齢者のICT活用を支援するため、高齢者向けに

地域の高齢者がICTをより活用するために、高齢者に向けたデジタルに関する相談会や高齢者のICT 利用をサポートする地域の担い手を育成。北区では「デジタル支援ボランティア」として、デジタル相談会等をサポートする体制を構築。



▲ 広瀬なごや（北区版）でのデジボラ募集



▲ デジボラ育成のための勉強会



▲ デジボラ協力によるデジタル相談会



地域でのデジタル支援ボランティア育成 → ICT利活用の啓発へ